

科目名 Subject Name	Speaking Skills I A					
科目名(英) Same as Above	Speaking Skills I A					
単位数 Credits	4	時間数 Hours	60	担当者 Instructor	Scott Clark, Jason Heliopoulos, Laurel Pegler, Andy Highcock, Keith Kelly, Scott Newby	
実施年度 Year	2019	実施時期 Semester	前期	実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area	○	
対象学科・学年 Class	International Business 1					
授業概要 Subject Description	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. English skills for living abroad, work and proficiency tests					
授業形式 Class Format	講義: Lecture	△	演習: Practice	○	実習: 実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標 Targets
	○					Raise students' English proficiency
	○					Give students more confidence in using English
	○			○		English skills for living abroad, work and proficiency tests
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Speak Out Elementary A					
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容 Topics and Contents			授業外学修指示 Preparation and Review	
	1	Placement Test			none	
	2	Level Check 2			none	
	3	Level Check 3			none	
	4	Get to know your teacher			none	
	5	1.1 Nice to meet you			Preview lesson materials	
	6	1.2 Travel light			Preview lesson materials and review previous lesson	
	7	Teacher's Lesson			Preview lesson materials and review previous lesson	
	8	1.3 Can I have a coffee?			Preview lesson materials and review previous lesson	
	9	1.4 Faulty Towers (needs DVD player)			Preview lesson materials and review previous lesson	
	10	Teacher's Lesson			Preview lesson materials and review previous lesson	
	11	1.5 Look back			Preview lesson materials and review previous lesson	
	12	Teacher's lesson			Preview lesson materials and review previous lesson	
	13	2.1 Join us!			Preview lesson materials and review previous lesson	
	14	2.2 High flyers			Preview lesson materials and review previous lesson	
	15	Teacher's Lesson			Preview lesson materials and review previous lesson	
	16	2.3 What time does it start?			Preview lesson materials and review previous lesson	
	17	Bus Hike (No class)			Preview lesson materials and review previous lesson	
	18	Teacher's Lesson			Preview lesson materials and review previous lesson	
19	2.5 Look Back			Preview lesson materials and review previous lesson		

	20	Teacher's Lesson	Preview lesson materials and review previous lesson				
	21	3.1 Big Happy families	Preview lesson materials and review previous lesson				
	22	3.2 Rea Friends?	Preview lesson materials and review previous lesson				
	23	Teacher's Lesson	Preview lesson materials and review previous lesson				
	24	3.3 Are you free tonight?	Preview lesson materials and review previous lesson				
	25	3.4 Diwali Celebrations (needs DVD player)	Preview lesson materials and review previous lesson				
	26	3.5 Look Back	Preview lesson materials and review previous lesson				
	27	Teacher's lesson	Preview lesson materials and review previous lesson				
	28	Review	Preview lesson materials and review previous lesson				
	29	Test Prep	Review previous material				
	30	Test prep	Review previous material				
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Ea gerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%
	宿題・レポート Assignment/Report						
	発表・作品 Presentation/Works						
履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 10 classes.						

科目名	インバウンド概論①						
科目名(英)	Introduction & Relation of Inbound Business						
単位数	2単位	時間数	15時間(30時間)	担当者	柳原 久一郎		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	ホテルにてフロント業務、営業企画として勤		
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	インバウンドビジネスに関わる行政やホテル、航空、空港や取り巻く環境について業界の知識と今後の傾向を学び併せて国際的センスを養う。ビジュアルツールを用いた講義および確認テストで構成。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				航空・ホテル・空港の各業界の動向について行政の関わりと合わせて説明することができる。	
	○					航空・ホテル・空港の各業界の用語について説明することができる。	
	○	○				主要国の首都・国家元首・通貨や経済と日本との関わりを説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	JNTO(日本政府観光局)他行政発行資料および業界誌、関連報道番組の視聴。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	海外ビジネスに必要な基本知識			次回の小テストに向け復習しておくこと		
	2	外国人誘致のための福岡市や他地域の取り組み			次回の小テストに向け復習しておくこと		
	3	MICEとは? 福岡市への誘致プロジェクトと世界の動向			次回の小テストに向け復習しておくこと		
	4	ホテルビジネスの現状と業界知識			次回の小テストに向け復習しておくこと		
	5	航空業界の戦略と世界の空港ビジネス			次回の小テストに向け復習しておくこと		
	6	ハラルマーケットへの対応と動向・地域資源の活用と取り組み			次回の小テストに向け復習しておくこと		
	7	海外ビジネスにおけるリスクと世界経済動向					
	8	世界各国の事情と世界的動向と確認テスト					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)最終回で全般にわたる確認テストを実施する。 (2)本科目の最終評価はインバウンド概論②と合算し評価とする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				100%
履修上の注意	後半の7回を加えて出席が10回に満たない場合、8回目の確認テスト不参加の場合は評価の対象になりません。						

科目名	GCB I					
科目名(英)	Global Citizen Basic I					
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	稲岡 明子・岡本 彩	
実施年度	2019年	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	海外ビジネス科1年					
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえでの“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまう“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生用テキスト)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンを目指そう			振り返りレポートの作成	
	2	「協働」の態度を持った学生生活			振り返りレポートの作成	
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～			振り返りレポートの作成	
	4	マナーの本質 I			振り返りレポートの作成	
	5	マナーの本質 II			振り返りレポートの作成	
	6	グローバルシティズンとしての日常			振り返りレポートの作成	
	7	グローバルシティズンとしての目標			振り返りレポートの作成	
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて			振り返りレポートの作成	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	レポート作成・発表				◎	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。					

科目名	MOS演習 I A						
科目名(英)	MOS I A (Excel)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	宮原 裕花		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	<p>タイピング練習にて、正確で速いタイピング技術を身につける。 Excelの基本操作を学び、ビジネスで活用できる表やグラフ作成などを練習する。 また、MOS Excel対策問題の演習を通じて、応用力を養い、MOSの合格を目指す。</p>						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			正確で速いタイピングができる。	
	○					ワークシートやブックの作成と管理ができる。	
	○					セルやセル範囲のデータの管理、テーブルの作成ができる。	
	○					数式や関数を使用した演算の実行ができる。	
○					グラフやオブジェクトの作成ができる。		
テキスト・教材 参考図書	FOM出版 MOS Excel 2016 対策テキスト&問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	タイピング練習、ワークシートやブックの作成と管理(1)	16	タイピング練習、数式や関数を使用した演算の実行(2)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	2	タイピング練習、ワークシートやブックの作成と管理(2)	17	タイピング練習、数式や関数を使用した演算の実行(3)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	3	タイピング練習、ワークシートやブックの作成と管理(3)	18	タイピング練習、数式や関数を使用した演算の実行(4)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	4	タイピング練習、ワークシートやブックの作成と管理(4)	19	タイピング練習 グラフやオブジェクトの作成(1)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	5	タイピング練習、ワークシートやブックの作成と管理(5)	20	タイピング練習 グラフやオブジェクトの作成(2)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	6	タイピング練習、ワークシートやブックの作成と管理(6)	21	タイピング練習 グラフやオブジェクトの作成(3)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	7	タイピング練習 セルやセル範囲の作成(1)	22	タイピング練習 グラフやオブジェクトの作成(4)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	8	タイピング練習 セルやセル範囲の作成(2)	23	模擬問題(1)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	9	タイピング練習 セルやセル範囲の作成(3)	24	模擬問題(2)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	10	タイピング練習 セルやセル範囲の作成(4)	25	模擬問題(3)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	11	タイピング練習 テーブルの作成(1)	26	模擬問題(4)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	12	タイピング練習 テーブルの作成(2)	27	模擬問題(5)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	13	タイピング練習 テーブルの作成(3)	28	模擬問題(6)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	14	タイピング練習 テーブルの作成(4)	29	模擬問題(7)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
15	タイピング練習、数式や関数を使用した演算の実行(1)	30	模擬問題(8)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと			
評価方法	(1)タイピング速度の記録を取る。(2)テキスト、各章ごとの確認テストを行う。(3)検定試験(MOS)を実施する。 (4)平常点として出席や忘れ物状況、授業への参加意欲を成績評価に加味する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	検定試験(MOS)	○	◎	○			50%
	確認テスト	○	◎	○			20%
	タイピング技能			◎	○		15%
	平常点				◎		15%
履修上の注意	PC教室の整理・整頓に留意すること。						

科目名	インバウンド概論②						
科目名(英)	Introduction & Relation of Inbound Business						
単位数	2単位	時間数	15時間(30時間)	担当者	八尋 隆志		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	旅行会社において旅行 営業として勤務		
対象学科・学年	海外ビジネス科 1年						
授業概要	2020年(訪日外国人3000万人)東京オリンピックに向けて日本政府は急激に外国人旅行者(インバウンド)に力を入れています。今回このインバウンドツーリズムについて、なぜ外国人旅行者を政府は誘致するのか外国人旅行者が日本に来る事によって日本経済はどのように変わっていくのか、どのような国々の方が日本を訪問するのか、何を求めて来るのかなど、幅広く講義していきます						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					訪日外国人が来日することによって日本経済はどう変わるかしっかりした定義にて習得する。	
		○				訪日外国人が日本に何を求めて観光に来てくるのか実際のツアーを検証して日本のプラス・マイナス面を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	観光ビジネス実践ワークブック(地域インバウンド) 横浜商科大学:編集 JATA資料及び業界誌						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	インバウンドとは(国内旅行・海外旅行の相違点)			新聞や外国人向け日本のパンフレットを見ておいてください。		
	2	外国人から見た日本の魅力(プラス・マイナス面)			新聞や外国人向け日本のパンフレットを見ておいてください。		
	3	実際の訪日外国人の行動			新聞や外国人向け日本のパンフレットを見ておいてください。		
	4	訪日外国人の日本への入国査証(VISA)			新聞や外国人向け日本のパンフレットを見ておいてください。		
	5	訪日外国人の国別の習慣や食事について			新聞や外国人向け日本のパンフレットを見ておいてください。		
	6	業界の専門用語の習得			新聞や外国人向け日本のパンフレットを見ておいてください。		
	7	業界の専門用語の習得及び確認テスト					
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)最終回で全般にわたる確認テストを実施する。 (2)本科目の最終評価はインバウンド概論①と合算し評価とする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				100%
履修上の注意	前半の8回を加えて出席が10回に満たない場合、15回目の確認テスト不参加の場合は評価の対象になりません。						

科目名	一般教養 I A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	市原 美智子		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				漢字検定準2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
	○					計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○	○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
	○					地理や政治についての基礎的な内容を理解し説明が出来る	
テキスト・教材 参考図書	専門学校生のための一般常識トレーニング ミニテスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目概要説明(シラバス)			次回学習部分に目を通しておくこと		
	2	ROUND1:漢字の知識、英語(動詞の活用変化)、主な国際機関について、時事用語			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	3	ROUND2:社会(環境問題、選挙について、国内政治について、宗教)、漢字の知識			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	4	第1回実力テスト ROUND2:英語(英文書き換え)、敬語表現、文学史			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	5	ROUND3:英語(単語の知識)、社会(憲法に関して、思想)、国語(漢字の知識、四字熟語)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	6	ROUND4:社会(歴史、国際連合について)、文学史			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	7	ROUND4:社会(歴史、地理)、計算問題(分数) ROUND5:国語(漢字の知識)、時事問題			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	8	ROUND5:社会(世界の発明家について)、英語(動詞の活用変化、時制、仮定法) ROUND6:主な国際機関、英語(空所補充)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	9	ROUND7:国語(四字熟語)、社会(各国の歴史と現在の状況、名言・名句) ROUND8:国語(ことわざ)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	10	ROUND8:社会(天皇の国事行為について、内閣について、歴史)、英語(単語の知識) ROUND9:英語(熟語の知識)、時事用語、数学(損益算)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	11	ROUND9:社会(歴史、国内経済)、数学(指数、割合)、英語(空所補充)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	12	第2回実力テスト ROUND10:英語(単語の知識)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	13	ROUND10:社会(経済)、数学(√の計算)、国語(漢字の知識)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	14	ROUND10:社会(各国の歴史と現在の状況)、英語(空所補充)、時事問題			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
15	ROUND1~10のまとめ			試験範囲の部分の復習をしておくこと			
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)授業中の態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○		○		80%
	小テスト	○	○		○		10%
	宿題・レポート	○	○		○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英検対策 I A						
科目名(英)	EIKEN Test / TOEIC Test Strategies I A						
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	和田 菜穂		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務教員 担当科目	○		
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	国際社会で活躍するための英語力を身につけ、グローバルに活躍できる人材となるために、英語の4技能をバランスよく伸ばし、TOEIC650点以上スコアを取得できる授業を行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○			社会的な内容の文章を理解することができる。(読む)		
	○	○			社会的な内容の文章を聞いて理解することができる。(聞く)		
	○	○			社会的な内容の話題についてやりとりすることができる。(話す)		
	○	○			社会的な内容の話題について書くことができる。(書く)		
テキスト・教材 参考図書	新TOEICテスト書き込みドリルボキャブラリー編、リスニング編、Basic Reading Strategies for the TOEIC TEST他						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベル分けテスト					
	2	TOEIC学習目標と出題形式、解法のテクニック Part5対策 ボキャブラリー WORD FORM(品詞、派生)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	3	Part5対策 ボキャブラリー 前置詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	4	Part5対策 ボキャブラリー 接続詞 前置詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	5	Part5対策 ボキャブラリー 動詞、助動詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	6	Part5対策 ボキャブラリー 代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	7	Part5対策ボキャブラリー形容詞、副詞リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	8	Part5対策 ボキャブラリー 冠詞、序数			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	9	Part5対策 ボキャブラリー 比較級 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	10	Part5対策 ボキャブラリー 最上級			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	11	Part5対策 ボキャブラリー 形容詞、副詞、比較級、最上級 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	12	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	13	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	14	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞、分詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	15	Part5対策 ボキャブラリー 関係代名詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	16	Part5対策 ボキャブラリー 関係副詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	17	Part7対策 ボキャブラリー 文法(仮定法) リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	18	Part7対策 ボキャブラリー 文法(仮定法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	19	Part7対策 ボキャブラリー 文法(語法) リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	20	Reading part5対策 ボキャブラリー			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	21	Reading Part5対策 ボキャブラリー リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	22	Reading対策 ボキャブラリー Skimming Scanning			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。		
	23	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	24	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	25	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	26	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	27	Reading Part6対策 リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	28	Reading Part6対策 リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	29	Reading Part6対策 リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	30	Reading Part6対策 リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	31	Reading Part6対策 リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	32	Reading Part7対策 リスニングPart3対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	33	Reading Part7対策 リスニングPart3対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	34	Reading Part7対策 リスニングPart3対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	35	Reading Part7対策 リスニングPart3対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	36	Reading Part7対策 リスニングPart3対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	37	Reading Part7対策 リスニングPart3対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	38	Reading Part7対策 リスニングPart4対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	39	Reading Part7対策 リスニングPart4対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	40	Reading Part7対策 リスニングPart4対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	41	Reading Part7対策 リスニングPart4対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	42	Reading Part7対策 リスニングPart4対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	43	Reading Part7対策 リスニングPart4対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	44	Reading Part7対策 リスニングPart4対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
	45	正試験対策 学期総括			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所をやり直しを徹底的に行うこと。		
評価方法	(1)正試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。評価方法は700点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを20回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	TOEIC	◎	○				45%
	単語テスト	◎	○		○		5%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英検対策 I A						
科目名(英)	EIKEN Test/ TOEIC Test Strategies I A						
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	野々村 賢一		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務教員 担当科目	○		
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	TOEIC600点取得を目標とする。まず語彙力強化のため復習単語テストを行う。またTOEICの頻出パターンをリスニングとリーディングを並行して学習していく。リスニングにおいては、全体の内容把握だけでなく、重要な部分を細部まで聞き取れるようにディクテーションを行う。また2倍速の音源を利用し情報処理能力を上げていく。この授業を通して総合的英語力の向上をめざし、社会生活に必要な英語が使えるようになる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○					
	○	○					
	○	○					
	○	○					
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト TOEIC公式問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス、自己紹介、TOEICの概要説明					
	2	Part1の傾向と対策・Part5の傾向と対策					
	3	Part1の実践問題①・Part5の実践問題①			前回の授業の復習		
	4	Part1の実践問題②・Part5の実践問題②			前回の授業の復習		
	5	Part1の実践問題③・Part5の実践問題③			前回の授業の復習		
	6	まとめのテストと復習			前回の授業の復習		
	7	Part2の傾向と対策・Part5の実践問題④			前回の授業の復習		
	8	Part2の実践問題①・Part5の実践問題⑤			前回の授業の復習		
	9	Part2の実践問題②・Part5の実践問題⑥			前回の授業の復習		
	10	Part2の実践問題③・Part5の実践問題⑦			前回の授業の復習		
	11	まとめのテストと復習			前回の授業の復習		
	12	Part3の傾向と対策・Part7の傾向と対策			前回の授業の復習		
	13	Part3の実践問題①・Part7の実践問題①			前回の授業の復習		
	14	Part3の実践問題②・Part7の実践問題②			前回の授業の復習		
	15	Part3の実践問題③・Part7の実践問題③			前回の授業の復習		
	16	Part3の実践問題④・Part7の実践問題④			前回の授業の復習		
	17	Part3の実践問題⑤・Part7の実践問題⑤			前回の授業の復習		
	18	Part4の傾向と対策・Part7の実践問題⑥			前回の授業の復習		
	19	Part4の実践問題①・Part7の実践問題⑦			前回の授業の復習		
	20	Part4の実践問題②・Part7の実践問題⑧			前回の授業の復習		
	21	Part4の実践問題③・Part7の実践問題⑨			前回の授業の復習		
	22	Part4の実践問題④・Part7の実践問題⑩			前回の授業の復習		
	23	まとめのテスト			前回の授業の復習		
	24	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	25	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	26	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	27	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	28	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	29	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	30	まとめのテスト			前回の授業の復習		
	31	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	32	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	33	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	34	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	35	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	36	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	37	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	38	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	39	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	40	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	41	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	42	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	43	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
	44	TOEIC総合問題演習:解答解説			前回の授業の復習		
45	まとめのテスト			前回の授業の復習			
評価方法	(1)筆記試験による定期試験を実施する。(2)授業中、4回のまとめテストを実施する。(3)学内でTOEIC(IP)を実施する。470点以上を80点、400点未満を75点以下、または70点以下とする。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	◎	○				10%
	英検の結果	◎	○				40%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英検対策 I A					
科目名(英)	EIKEN Test /TOEIC Test Strategies I A					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	石田 小雪	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年					
授業概要	英検2級(高校卒業程度)合格とTOEICのスコア100点アップを目標とし、単語テスト、短文/長文の語句空所補充問題、長文読解、英作文、ディクテーション、ある事柄について英語で意見を述べる練習を行っていく。この授業を通して総合的英語力の向上をめざし、社会生活に必要な英語が使えるようになる。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む)
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く)
	○	○				社会性のある話題についてやりとりすることができる。(話す)
	○	○				社会性のある話題について書くことができる。(書く)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集、TOEIC L&Rテスト 直前の技術、TOEICテスト新形式精選模試L&R					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、英作文、ディクテーション				
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	英検対策 大問2(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	英検対策 大問2(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	英検対策 大問3(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	英検対策 大問3(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	英検対策 大問4(ライティング)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	英検対策 大問4(ライティング)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	英検対策 大問4(ライティング)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	英検模擬試験 問題1 筆記			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説大問1			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	15	英検模擬試験 問題1 解説大問1、2			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	16	英検模擬試験 問題1 解説大問3			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	17	英検模擬試験 問題1 解説大問3			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	18	英検模擬試験 問題1 ライティング練習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	19	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	20	英検本試験解説 大問1			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	21	英検本試験解説 大問2			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	22	英検本試験解説 大問3			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	23	英検本試験解説 大問3			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	24	英検本試験解説 ライティング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	25	英検本試験解説 ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	26	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	27	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	28	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	29	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
30	英検二次対策/英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		

	31	英検二次対策／英検筆記対策(過去問題)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	32	英検二次対策／英検筆記対策(過去問題)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	33	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	34	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	35	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	36	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	37	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	38	TOEIC対策 語彙、Part6、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	39	TOEIC対策 語彙、Part6、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	40	TOEIC対策 語彙、Part7、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	41	TOEIC対策 語彙、Part7、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	42	TOEIC模擬試験 問題1 筆記					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	43	TOEIC模擬試験 問題1 リスニング 解答 & 解説					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	44	TOEIC模擬試験 問題1 解説					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	45	前期まとめ					前回までの復習を行って授業に臨むこと
評価方法	<p>(1)学内で英検を実施する。英検2級完全合格を90点、1次合格を85点、1次不合格のバンド-1～-3は80点～75点、バンド-4～-6は75点～70点、バンド-7以下は65点とする。 (2)定期試験(筆記)を実施する。 (3)単語テストを15回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	英検2級試験	◎	○				45%
	単語テスト	◎	○		○		5%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英検対策 IA						
科目名(英)	EIKEN Test / TOEIC Test Strategies IA						
単位数	6単位		時間数	90時間		担当者	村上 正雄
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	実用英語技能検定準2級合格・TOEICスコア50点アップを目標とする。 短文/長文の語句空所補充問題・長文読解問題演習、リスニング問題演習、英作文、音読、単語テストを行う。 基礎的な英語力の向上をめざし、英検2級取得への橋渡しとする。						
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○			社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む)		
	○	○			社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く)		
	○	○			社会性のある話題についてやりとりすることができる。(話す)		
	○	○			社会性のある話題について書くことができる。(書く)		
テキスト・教材 参考図書	実用英語技能検定準2級 過去問題集						
科目概要 授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	自己紹介/短文の語句空所補充					
	2	短文の語句空所補充					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	短文の語句空所補充					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	短文の語句空所補充/会話文の空所補充					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	短文の語句空所補充/会話文の空所補充					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	短文の語句空所補充/会話文の空所補充					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	長文の空所補充					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	長文の空所補充					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	長文の空所補充					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	長文の空所補充					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	長文読解/リスニング応答文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	長文読解/リスニング応答文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	長文読解/リスニング応答文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	長文読解/リスニング会話文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	長文読解/リスニング会話文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英作文/リスニング会話文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英作文/リスニング独白文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英作文/リスニング独白文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	本番前復習					前回の復習を行って授業に臨むこと
	20	本番振り返り					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	本番振り返り					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	本番振り返り					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	短文の語句空所補充/音読					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	短文の語句空所補充/音読					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	短文の語句空所補充/音読					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	26	会話文・長文の語句空所補充/音読					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	27	会話文・長文の語句空所補充/音読					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	28	会話文・長文の語句空所補充/音読					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	29	二次試験対策					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	30	二次試験対策					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	31	二次試験対策					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	32	二次試験対策					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	33	長文読解/音読					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	34	長文読解/音読					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	35	長文読解/音読					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	36	長文読解/リスニング応答文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	37	長文読解/リスニング応答文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	38	長文読解/リスニング会話文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	39	長文読解/リスニング会話文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	40	長文読解/リスニング独白文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	41	長文読解/リスニング独白文					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	42	リスニング演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	43	リスニング演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	44	期末テスト前復習					前回の復習を行って授業に臨むこと
	45	期末テスト前復習					前回の復習を行って授業に臨むこと
評価方法	1) 学内で実用英語技能検定試験準2級を実施。 完全合格を85点、1次試験合格を80点、1次試験不合格の英検バンド-1~-3は75点~70点、バンド-4~-6は65点、バンド-7以下は60点とする。 2) 定期試験(筆記)を実施する。 3) 単語テストを15回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	英検準2級試験	◎	○				45%
単語テスト	◎	○		○		5%	
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英検対策 I A					
科目名(英)	EIKEN Test / TOEIC Test Strategies I A					
単位数	6	時間数	90時間	担当者	岡本 彩	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年					
授業概要	英検準2級合格とを目標とし、単語テスト、短文/長文の語句空所補充問題、長文読解、英作文、短文のディクテーション、ある事柄について英語で意見を述べる練習を行っていく。この授業を通して総合的英語力の向上をめざし、社会生活に必要な英語が使えるようになる。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む)
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く)
	○	○				社会性のある話題についてやりとりすることができる。(話す)
	○	○				社会性のある話題について書くことができる。(書く)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、英作文、WHクエスチョン				
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	4	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	5	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	6	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	7	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	8	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	9	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	10	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	11	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	12	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	13	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	14	英検模擬試験			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	15	英検模擬試験			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	16	英検模擬試験			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	17	英検模擬試験			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	18	英検模擬試験			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	19	英検本試験解説 大問1			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	20	英検本試験解説 大問2			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	21	英検本試験解説 大問3			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	22	英検本試験解説 大問4			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	23	英検本試験解説 リスニング、ライティング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	24	基本文法、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
25	基本文法、リスニング			前回の復習を行って授業に臨むこと。		

	26	基本文法、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	27	基本文法、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	28	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	29	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	30	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	31	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	32	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	33	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	34	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	35	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	36	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	37	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	38	英検模擬試験	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	39	英検模擬試験	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	40	英検模擬試験	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	41	英検模擬試験	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	42	英検模擬試験	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	43	英検模擬試験	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	44	英検模擬試験	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	45	前期まとめ	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
評価方法	<p>(1)学内で英検を実施する。英検準2級完全合格を90点、1次合格を85点、1次不合格のバンド-1~-3は80点~75点、バンド-4~-6は75点~70点、バンド-7以下は65点とする。</p> <p>(2)定期試験(筆記)を実施する。</p> <p>(3)単語テストを実施する。</p> <p>以上を下記の観点、割合で評価する。</p> <p>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	英検準2級試験	◎	○				45%
	単語テスト	◎	○		○		5%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英検対策 I A					
科目名(英)	EIKEN TEST / TOEIC TEST STRATEGIES I A					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	稲畑 明子	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年					
授業概要	英検準2級の取得を目標とする。実用英語検定の問題を細分化し、それぞれのパート毎に能力向上のための問題を解くことで、合格ラインを目指す。また、語彙力を上げるため、別途準備した単語プリントを暗記し、授業内でテストを実施する。 リスニングについても、過去問題や問題ドリルを用いて、対策を行う。ライティングについては、3級レベルの問題とリーディング					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				カコタンBOOK準2の単語を覚え、試験で活用する。
	○	○				過去問題の分野別のプリントを解き、弱点を攻略しながら、徐々に点数を上げていく。
	○	○				長文の解き方を理解し、辞書を使わずに概要をつかむことができる。
	○	○				リスニングの傾向を理解し、英検準2級のリスニング問題の点数を合格ラインまで上げる。
テキスト・教材 参考図書	・英検準2級過去問題 ・7日間完成 英検準2級予想問題ドリル ・英検準2級をひとつひとつわかりやすく					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	placement test				
	2	授業概要、学習方法 : 分野別 1 2分問題 シャドーイング 単語他			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	3	分野別 1 2分問題 シャドーイング 単語他			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	4	分野別 2 2分問題 シャドーイング 単語他			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	5	分野別 2 2分問題 シャドーイング 単語 長文の解き方			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	6	分野別 2 2分問題 シャドーイング 単語 長文解釈			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	7	分野別 メール問題 2分問題 シャドーイング 単語 長文解釈			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	8	分野別 メール問題 2分問題 シャドーイング 単語 長文解釈			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	9	リスニング 1部 2分問題 単語 英文法			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	10	リスニング 1部 2分問題 単語 英文法			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	11	リスニング 2部 2分問題 単語 英文法			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	12	リスニング 2部 2分問題 単語 英文法			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	13	リスニング 2部 2分問題 単語 英文法			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	14	リスニング 3部 2分問題 単語 英文法			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	15	模擬テスト 1 リスニングなし + 解答解説			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	16	模擬テスト 2 リスニングあり + 解答			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	17	模擬テスト 2 解説 リスニング + 解答			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	18	模擬テスト 3 リスニングなし + 解答解説			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	19	模擬テスト 4 リスニングあり + 解答			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	20	模擬テスト 4 解説 リスニング + 解答			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	21	模擬テスト 5 リスニングなし + 解答解説			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	22	模擬テスト 6 リスニングあり + 解答			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	23	模擬テスト 7 リスニングなし + 解答解説			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
	24	過去問題 1 + 解答解説			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む	
25	過去問題 2 + 解答解説			前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む		

	26	準2級 面接対策 会話スキット(暗記) カコタンBOOK	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	27	準2級 面接対策 会話スキット(暗記) カコタンBOOK	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	28	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	29	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	30	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	31	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	32	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	33	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	34	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	35	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	36	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	37	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	38	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	39	会話スキット(暗記) 単語暗記 準2級 慣用語 + 英作文	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	40	グループ学習 → 基礎英語オリジナルプリント + 単語暗記 準2級	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	41	グループ学習 → 基礎英語オリジナルプリント + 単語暗記 準2級	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	42	グループ学習 → 基礎英語オリジナルプリント + 単語暗記 準2級	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	43	グループ学習 → 基礎英語オリジナルプリント + 単語暗記 準2級	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	44	グループ学習 → 基礎英語オリジナルプリント + 単語暗記 準2級	前時授業の復習及び宿題をしてから授業に臨む				
	45	予備					
評価方法	(1)学内実施の実用英語検定準2級の合格を目指し、英検準2級完全合格を90点、1次合格を85点、不合格のバンド1～3は80点～75点、バンド4～6は75点～70点、バンド7以下は65点とする。(2)定期検査(筆記)実施する。(3)単語テスト、並びに2分間テストを各15回以上実施する。(1)～(3)を以下の評価割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	実用英語準2級検定	◎	○				45%
	単語テスト	◎	○		◎		5%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	韓国語 I A								
科目名(英)	Korean I A								
単位数	2	時間数	30時間	担当者	水早 真弓				
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	海外ビジネス科 1年								
授業概要	韓国語の基礎、特にハングルの読み方と発音を正確に学習する。 韓国語は文字が読めないと学習できないため、この時期にしっかりと正確な読み方と発音を習得し、今後の韓国語学習につなげる。								
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
	○					ハングルの仕組みを理解し、読めるようになる。			
	○					発音変化の仕組みを理解し、的確に読めるようになる。			
	○		○			挨拶言葉を覚え、簡単な挨拶ができるようになる。			
	○	○	○			基礎的な文法を学習し、文章が作れるようになる。			
テキスト・教材 参考図書	・自作資料 ・基礎から学ぶ韓国語講座 初級								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	ハングルを読もう!① 挨拶を覚えよう!①				習った部分を復習する。			
	2	ハングルを読もう!② 挨拶を覚えよう!②				習った部分を復習する。			
	3	ハングルを読もう!③ 挨拶を覚えよう!③				習った部分を復習する。			
	4	ハングルを読もう!④ 挨拶の小テスト				授業前:習った挨拶をテストに備えて覚える。 授業後:習った部分を復習する。			
	5	第1課 あいさつと自己紹介				習った部分を復習する。			
	6	第1課 あいさつと自己紹介				習った部分を復習する。			
	7	第2課 「～ですか」				習った部分を復習する。			
	8	第2課 「～ですか」				習った部分を復習する。			
	9	第3課 「～ではありません」<否定形>				習った部分を復習する。			
	10	第3課 続き 1課から3課までの復習				習った部分を復習する。			
	11	中間テスト				授業前:1~3課をテストに備えて覚える。			
	12	第4課 「あります/ありません」				習った部分を復習する。			
	13	第4課 「あります/ありません」				習った部分を復習する。			
	14	第5課 「します/しますか」(フォーカル体)				習った部分を復習する。			
15	第5課 「します/しますか」(フォーカル体) +前期の総復習				習った部分を復習する。				
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。 (2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	◎	◎				50%		
	小テスト・中間テスト	◎	◎				50%		
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。								

科目名	韓国語 I A						
科目名(英)	korean I A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	礒山慶子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	アジアの中心地である福岡から国際で活躍できる人材育成のため、韓国語や中国語は必須科目となっている。その人材を育成することにあたって必要な学習、文字の読み書き、会話、文法、作文などを中心に授業を進める。最終的にはビジネスに役に立つことを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					韓国語で挨拶が出来、短い会話ができる。	
		○				ハングルの文字を読み、意味把握理解が出来る。	
			○			ハングルの文字を自由自在に書ける。	
				○		興味のある音楽、映画などを通して韓国語に近づくことが出来る。	
			○			会話が出来るともっと社会で話す意欲が湧いて来る。	
テキスト・教材 参考図書	図書刊行会出版 基礎から学ぶ韓国語講座 初級編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ハングル文字について(母音)、簡単な挨拶言葉。				毎回授業の前に前回で学習したものを復習する。	
	2	ハングル文字について(子音)、簡単な挨拶言葉。					
	3	ハングル文字について(終声音)、簡単な挨拶言葉。					
	4	ハングル文字について(複合母音)、簡単な挨拶言葉。					
	5	ハングル文字の読み書き、日本語のハングル表記、簡単なテスト。					
	6	教科書第1課の本文、文法。					
	7	教科書第1課の練習問題。					
	8	教科書第2課の本文、文法。					
	9	教科書第2課の練習問題、ロールプレイ、応用問題					
	10	教科書第3課の本文解説、文法。					
	11	教科書第3課の練習問題、応用問題。					
	12	教科書第4課の本文解説、文法。					
	13	教科書第4課の練習問題、応用問題。					
	14	教科書第5課の本文解説、文法。					
15	教科書第5課の練習問題、前期の総復習。						
評価方法	確認テストは頻繁に行う。試験範囲が多い場合は中間試験を実施する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○	○			80%
	小テスト	○	○	○	○		20%
履修上の注意	出席が10回満たない場合、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養 I A						
科目名(英)	Spcoai Study I A						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	稲岡 明子・岡本 彩		
実施年度	2019年	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	麻生塾の規則を知る。学科の特性を知る。団体行動の際、自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーション力などを養う。クラス運営に必要な役割を理解し、役割を担う。必要に応じて話し合いをし、自治を行う。 就職に必要な準備をする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○			○		自身で目標を設定し、達成に向けた行動を心がけることができる。	
	○			○		就職活動準備に向けて、自ら情報集を行い、希望職種についての理解を深める。	
				○		提出期限を遵守することができる。	
				○		クラスで方向性を共有し、協調性を深めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	特になし。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	学則について～ルールとマナーとは					
	2	目標設定・クラス内での自身の役割について				目標を考えてくること	
	3	英語学習の重要性、E-LearningなどITを使った学習と就職活動					
	4	就職環境を知ろう①(業界の動向)				希望職種の試験スケジュールを調べてくること。	
	5	就職環境を知ろう②(業界の求める人材とは?)				希望職種の試験スケジュールを調べてくること。	
	6	自己分析とキャリアプランニング①(自分史の作成)				ターニングポイントを列挙すること。	
	7	自己分析とキャリアプランニング②(10年後の自分について考える)				将来の姿を具体的に箇条書きにすること。	
	8	前期の振り返り・夏休みの過ごし方について					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)前期中に1回作文を提出する。(2)その他提出物の期限を遵守する。(3)自分の考えを積極的に発言する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				○		80%
	作文提出状況	○			○		10%
	授業内での発言				○		10%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。						

科目名	商業簿記 I A						
科目名(英)	Book Keeping I A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	池前 むつみ		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	食品卸販売業において 経理事務として勤務		
対象学科・学年	海外ビジネス科 1年						
授業概要	ビジネスパーソンに必須の基本知識である、日商簿記検定3級の資格取得が最終目標です。お金の流れ＝簿記であるように、日々の取引の中でうまれたお金はどのように管理しているのか、管理していくのかを学びます。まず前期では仕訳という作業を習得します。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					簿記の流れ、会計期間を学び、各名称を説明することができる。	
	○					5大要素を、貸借対照表・損益計算書と照らして説明することができる。	
	○					取引に応じた勘定科目を学び、各勘定科目を説明することができる。	
		○				勘定科目を使い、仕訳をすることができる。	
		○				仕訳をした後に、総勘定元帳へ転記をすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	TAC出版 スッキリわかる日商簿記3級						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	前期授業(検定内容等)説明 第1章簿記とは			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	第1章仕訳 第2章商品売買…掛けまで			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	第2章商品売買…クレジットから 第3章現金			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	小テスト 第4章…普通預金、定期預金、当座預金			小テストを実施するので、復習しておくこと		
	5	第4章…当座借越 第5章小口現金			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	第6章…約束手形、電子記録債権(債務)			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	小テスト 第7章…貸付金、借入金			小テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	第7章…手形貸付金から 第8章…仮払金まで			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	第8章…仮受金、立替金、預り金、商品券、差入保証金			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	第9章…消耗品、租税公課			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	小テスト 第10章…貸倒れ、貸倒引当金			小テストを実施するので、復習しておくこと		
	12	第11章…固定資産の購入、決算、売却			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	第12章…株式の発行増資、当期純利益、剰余金			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	小テスト 総復習			小テストを実施するので、復習しておくこと		
15	総復習			前期の総復習です。テキストを振り返っておきましょう。			
評価方法	(1)小テストを4回実施する。(2)宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				80%
	小テスト	○	◎				15%
	宿題		○		◎		5%
履修上の注意	電卓は必ず毎回持参しましょう。(スマートフォン等での代用は認めません。)						

科目名	総合英語 IA							
科目名(英)	General English IA							
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	村上 正雄	
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年							
授業概要	英語の仕組みを平易な切り口で説明し、英文法の基礎知識習得を目標とする。検定取得、TOEICスコアアップ、会話力向上のための英語の基礎力(語彙力、文法力)を養成し、品詞確認と英作文に取り組み英語の運用能力を高める。							
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解することができる。		
	○	○				5文型を使い分けすることができる。		
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。		
テキスト・教材 参考図書	総合英語フォレストを基にした学習プリント							
科目概要 授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト						
	2	自己紹介/5文型とは/第二文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	第三文型、第一文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	第四文型、第五文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	第二文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	第三文型、第一文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	第四文型、第五文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	その1 時制					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	その1 時制 つづき					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	その2 完了形					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	その2 完了形 つづき					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	復習 その1 時制・その2 完了形					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	本番前復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	その3 助動詞					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	15	その3 助動詞 つづき					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	16	復習 その3 助動詞					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	17	その4 受動態					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	18	その4 受動態 つづき					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	19	復習 その4 受動態					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	20	その5 不定詞					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	21	その5 不定詞 つづき					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	22	復習 その5 不定詞					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	23	復習 その5 不定詞 つづき					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	24	その6 動名詞					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	25	その6 動名詞 つづき 復習 その6 動名詞					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	26	復習 その6 動名詞					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	27	問題演習 その1					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	28	問題演習 その2					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	29	期末テスト前復習					前回の復習を行って授業に臨むこと	
	30	期末テスト前復習					前回の復習を行って授業に臨むこと	
評価方法	1) 学内でTOEIC (IP) 検定試験を実施。 700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点~405点を75点以下、400点未満を70点以下とする。 2) 定期試験(筆記)を実施する。 3) 確認テストを6回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S (90点以上)・A (80点以上)・B (70点以上)・C (60点以上)・D (59点以下) とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	○				50%	
	TOEIC (IP) 検定試験	◎	○				45%	
単語テスト	◎	○		○		5%		
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	石田 小雪		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	英語の仕組みを平易な切り口で説明し、英文法の基礎知識習得を目標とする。検定取得、TOEICスコアアップ、会話力向上のための英語の基礎力(語彙力、文法力)を養成し、品詞確認と英作文に取り組み英語の運用能力を高める。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○			品詞の役割と英文構造を理解することができる。		
	○	○			5文型を使い分けることができる。		
	○	○			正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。		
テキスト・教材 参考図書	英文法トレーニングノートα、英文法・作文トレーニングノートα、英文法トレーニングノートβ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベルチェックテスト					
	2	オリエンテーション、品詞概要、文中での役割					
	3	品詞と文型 第2文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	4	品詞と文型 第2文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	5	品詞と文型 第3文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	6	品詞と文型 第1文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	7	品詞と文型 第1文型、第4文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	8	品詞と文型 第4文型と第3文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	9	品詞と文型 第5文型①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	10	品詞と文型 第5文型②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	11	時制①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	12	時制②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	13	時制③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	14	助動詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	15	助動詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	16	形容詞・副詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	17	形容詞・副詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	18	形容詞・副詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	19	名詞・冠詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	20	名詞・冠詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	21	代名詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	22	代名詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	23	前置詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	24	接続詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	25	接続詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	26	不定詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	27	不定詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	28	動名詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	29	動名詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	30	前期まとめ			前回までの復習を行って授業に臨むこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC(IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を70点以下とする。 (3)品詞テストを10回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	TOEIC(IPテスト)	◎	○				45%
	品詞テスト	◎	○		○		5%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I A					
科目名(英)	General English I A					
単位数	4	時間数	60時間	担当者	岡本 彩	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年					
授業概要	英語検定合格、TOEICスコアアップ、会話力向上のための英語の基礎力(語彙力、文法力)を養成する。品詞確認と英作文、英文読解に取り組み英語の運用能力を高める。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				英語のルール、文の成り立ち、構造を理解し、正確に読む方法を身につける
	○	○				ボキャブラリーを増やし、実際に使えるようにする
	○	○				文法問題やTOEIC Part5への応用ができる
テキスト・教材 参考図書	マーフィーのケンブリッジ英文法初級編					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	レベルチェック、英作文				
	2	5文型、文の成り立ち、品詞			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	3	5文型、文の成り立ち、品詞			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	4	時制(現在形・過去形)			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	5	時制(現在完了形)			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	6	時制(未来表現)			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	7	時制復習			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	8	疑問文の作り方			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	9	疑問文の作り方			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	10	疑問文の作り方			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	11	ingとto+動詞の原形			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	12	ingとto+動詞の原形			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	13	ingとto+動詞の原形			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	14	ingとto+動詞の原形			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	15	助動詞			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	16	助動詞			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	17	助動詞			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	18	助動詞			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	19	助動詞			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	20	助動詞			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	21	代名詞と所有格			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	22	代名詞と所有格			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	23	代名詞と所有格			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	24	代名詞と所有格			前回の復習を行って授業に臨むこと。	
25	代名詞と所有格			前回の復習を行って授業に臨むこと。		

	26	代名詞と所有格	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	27	英作文、音読	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	28	英作文、音読	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	29	英作文、音読	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
	30	前期のまとめ	前回の復習を行って授業に臨むこと。				
評価方法	(1)筆記試験による定期試験を実施する。 (2)授業中にまとめテストを実施する。 (3)学内でTOEIC(IP)を実施する。700点以上100点、600点以上95点、500点以上90点、470点以上85点、470点未満80点、400点未満75点とする。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	◎	○		○		10%
	TOEICの結果	◎	○		○		40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	野々村 賢一		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	英語の基礎となる品詞と5文型の理解を深め、様々な文法事項へ応用できる力を付ける。英語の成り立ちと英語が訳せない理由を把握することで、それを克服し、勤や、感覚に頼らず論理的に英文を訳せる力を身に付ける。また英文解釈にとどまらず、TOEICのPart5に応用できる力を付ける。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○					
	○	○					
	○	○					
目標	英語のルール、文の成り立ち、構造を理解し、正確に読む方法を身に付ける						
	文構造を把握し勤や感覚にたよらず論理的に英文を訳せるようになる。						
	文法問題やTOEIC Part5への応用ができる。						
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベルチェック					
	2	クラス概要の説明、自己紹介、品詞重要な4大品詞			前回の授業の復習		
	3	品詞重要な4大品詞:名詞・動詞・形容詞・副詞の役割と練習問題			前回の授業の復習		
	4	4大品詞に次ぐ重要品詞:前置詞・接続詞と練習問題			前回の授業の復習		
	5	文の成り立ち②:文の要素と修飾語			前回の授業の復習		
	6	5文型:修飾語を取り除いた文の要素の語順			前回の授業の復習		
	7	5文型の練習問題			前回の授業の復習		
	8	なぜ5文型の把握が大切なのか①英語が複雑になる3大理由①修飾語			前回の授業の復習		
	9	3つの構成単位:語・句・節			前回の授業の復習		
	10	句と節の対処法:句・節の「範囲」を把握し、()でくくる			前回の授業の復習		
	11	なぜ5文型の把握が大切なのか②			前回の授業の復習		
	12	句・節の「役割」を特定する			前回の授業の復習		
	13	なぜ5文型の把握が大切なのか③			前回の授業の復習		
	14	読解問題①			前回の授業の復習		
	15	読解問題②			前回の授業の復習		
	16	準動詞の概要:To V とing			前回の授業の復習		
	17	不定詞の名詞的用法:問題と読解			前回の授業の復習		
	18	不定詞の形容詞的用法:問題と読解			前回の授業の復習		
	19	不定詞の副詞的用法:問題と読解			前回の授業の復習		
	20	ingの用法①動名詞の概要説明			前回の授業の復習		
	21	ingの用法①動名詞の文法問題と読解			前回の授業の復習		
	22	ingの用法②分詞の概要説明			前回の授業の復習		
	23	ingの用法②分詞の文法問題と読解			前回の授業の復習		
	24	ingの用法③分詞構文の概要説明			前回の授業の復習		
	25	ingの用法③分詞構文の文法問題と読解			前回の授業の復習		
	26	関係代名詞の概要説明			前回の授業の復習		
	27	関係副詞の概要説明			前回の授業の復習		
	28	関係代名詞と関係副詞の使い分け・文法問題・読解			前回の授業の復習		
	29	まとめ①			前回の授業の復習		
	30	まとめ②			前回の授業の復習		
評価方法	(1)筆記試験による定期試験を実施する。(2)授業中、4回のまとめテストを実施する。(3)学内でTOEIC (IP)を実施する。470点以上を80点、400点未満を75点以下、または70点以下とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	◎	○				10%
	TOEICの結果	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	今長 まゆみ		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	海外ビジネス科1年生						
授業概要	TOEICや英検、日常会話の基本は中学英語にある。 中学から学習してきた英語文法を基礎からやり直し、日常生活において話す、聞く、読む、書くための基礎的な力を身につけることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				自分の身の回りのことを説明することができる。(話す)	
	○	○				相手の話すことを聞いて、理解することができる。(聞く)	
	○	○				簡単な説明文やメールなどを読み、その内容を理解することができる。(読む)	
	○	○				自分の身の回りのことを文章で説明することができる。(書く)	
テキスト・教材 参考図書	中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく、中学英語基礎がため100%、その他						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	クラス分けテスト、自己採点			特になし		
	2	オリエンテーション、実力確認テスト			プリント類を整理するファイルを準備しておくこと		
	3	I S1-1(This is～の文①)、S1-2(This is～の文②)			間違えた問題を再度確認すること		
	4	S2-1(be動詞1)、S2-2(be動詞2)			間違えた問題を再度確認すること		
	5	S3-1(一般動詞①)、S3-2(一般動詞②)			次回まとめテストの準備のため、復習しておくこと		
	6	まとめテスト①(S1,2,3),S4-1(形容詞と冠詞①)			間違えた問題を再度確認すること		
	7	S4-2(形容詞と冠詞②)、S5-1(複数の文)			間違えた問題を再度確認すること		
	8	まとめテストFB、S5-2(複数の文②)、復習(英語の品詞)			間違えた問題を再度確認すること		
	9	S6-1(likes, hasなどの文①-3単現)、S6-2(likes,hasなどの文②-3単現)			間違えた問題を再度確認すること		
	10	復習(be動詞、一般動詞、3単現のS、現在形疑問文)、S7(代名詞とWhose～?)			次回まとめテストの準備のため、復習しておくこと		
	11	まとめテスト②(S4,5,6,7), S8(命令文)			間違えた問題を再度確認すること		
	12	まとめテストFB、S9-1、2(時刻などの言い方①時刻②曜日、日付)			間違えた問題を再度確認すること		
	13	英検対策			間違えた問題を再度確認すること		
	14	S10-1,2(How, Wh疑問文①②)			間違えた問題を再度確認すること		
	15	S11-1(現在進行形①-ingの付け方、否定文)、S11-2(現在進行形②-疑問文)			次回まとめテストの準備のため、復習しておくこと		
	16	まとめテスト③(S8,9,10,11)			わからなかった箇所を再度確認すること		
	17	S12-1(Canの文①-肯定文、否定文)、S12-2(Canの文②-疑問文、Who[What]can?)			間違えた問題を再度確認すること		
	18	まとめテストFB、S13-1(過去の文①-一般動詞)規則動詞、不規則動詞肯定文			間違えた問題を再度確認すること		
	19	S13-2(過去の文②-一般動詞)否定文、疑問文			間違えた問題を再度確認すること		
	20	S14(会話表現)			次回まとめテストの準備のため、復習しておくこと		
	21	まとめテスト④(S12,13,14)、総復習			間違えた問題を再度確認すること		
	22	まとめテストFB、II S2-1(過去の文-be動詞の過去の文)、S2-2(過去進行形)			間違えた問題を再度確認すること		
	23	5文型			間違えた問題を再度確認すること		
	24	S3-1(比較の文①原級、比較級、最上級)			間違えた問題を再度確認すること		
	25	S3-2(比較の文②more, most)			間違えた問題を再度確認すること		
	26	S3-3(比較の文③like better/best、疑問詞で始まる比較の文)			次回まとめテストの準備のため、復習しておくこと		
	27	まとめテスト⑤(S1,2,3)			わからなかった箇所を再度確認すること		
	28	まとめテストFB、前期試験対策			間違えた問題を再度確認すること		
	29	前期試験対策			間違えた問題を再度確認すること		
30	前期試験対策			間違えた問題を再度確認すること			
(1)授業中、まとめテストを5回実施する。(2)学内でTOEIC (IP)を実施する。470点以上を80点、400点未満を75点以下、または70点以下とする。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	TOEIC (IPテスト)	◎	◎				45%
	まとめテスト	◎	◎				5%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	中国語 I A								
科目名(英)	Chinese I A								
単位数	2	時間数	30時間	担当者	王 波				
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	海外ビジネス科1年								
授業概要	中国語をマスターするための第一歩は発音です。ゆっくり時間をかけてピンインの発音をクリア その次 基本的な文法をふまえながら、できるだけ日常生活に合わせ、常用語を数多く取り入れて、中国語の文章表現を修得し、応用できるようになる。								
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○	○	○			常用言葉、単語を使い簡単な文法の応用、自己紹介ができるようになる			
テキスト・教材 参考図書	中国語はじめての一步								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	中国語入門 中国語の特徴及び習い方 自己紹介							
	2	ピンインの発音練習及び四声							
	3	単母音と子音をマスターして、四声を繰り返して、発音の特徴をつ							
	4	前回の復習 複合母音と四声のつけ場所 数字の練習							
	5	ピンインの発音チェックと発音練習							
	6	第1課 文法ポイント 是という判断文の文型							
	7	単語を読みながら、文法に基づいて会話する							
	8	文の解釈と応用プリント							
	9	小テスト 第2課 文法ポイント							
	10	指示代名詞と副詞と疑問詞							
	11	自分の苗字と出身地を中国語で言えるよう、人に聞けるよう							
	12	単語を読みながら、文法に基づいて会話する							
	13	一部の動詞を勉強して、更に会話の実力をアップする							
	14	一部の動詞を勉強して、更に会話の実力をアップする							
15	口頭試験・期末テスト範囲復習								
評価方法	(1)口頭試験を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験(口頭試験加味)	○	○	○			100%		
履修上の注意									

科目名	中国語 I A						
科目名(英)	Chinese I A						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	陳金陵		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	海外ビジネス1年						
授業概要	中国語の授業を通じて、基礎を身につけて、少しでも中国への関心を高めるようにします。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○	○			常用言葉、単語を使い簡単な文法の応用、自己紹介ができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	中国語はじめての一步						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	中国はどんな国、中国語の仕組み					
	2	母音				発音の練習	
	3	鼻音と挨拶言葉				発音の練習	
	4	声調と鼻音の復習				発音の練習	
	5	子音半分と母音の組み合わせ				発音の練習	
	6	子音半分と母音の組み合わせ				発音の練習	
	7	発音の総復習				発音の練習	
	8	数字と各自の名前の言い方				名前を正確に言えるように	
	9	年齢と挨拶言葉を使い会話練習				挨拶言葉をしっかり覚えよう	
	10	第一課の単語				単語を覚えよう	
	11	文型:AはBです				単語を使い繰り返して文型を理解する	
	12	副詞:也				副詞と文型の復習	
	13	助詞:的				助詞と文型の復習	
	14	本文と会話				本文の読み、単語を置き換えて会話の練習	
15	口頭試験と筆記試験対策				自己紹介		
評価方法	(1)口頭試験を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(口頭試験加味)	○	○	○			100%
履修上の注意							

科目名	貿易英語 A								
科目名(英)	Trade English A								
単位数	2	時間数	30	担当者	秋本 佐代子				
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	海外ビジネス科グローバルビジネスコース 1年								
授業概要	貿易に関わる場面で使われる専門用語を覚え、英文レターの概要を理解できるよう読解力をつけていく。また貿易書類の種類と記載事項を覚え、資料を元に正しく作成できることを目指す。輸入品研究では、グループで輸入品を購入し、物品情報、日本に輸入されるまでの過程などについて調べ発表をする。								
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
	○					貿易用語を理解することができる。			
	○					簡単な貿易書類の概要を理解することができる。			
	○			○		貿易書類の大まかな部分の記載をすることができる。			
	○					英文レターの概要を理解することができる。			
	○					日本市場における輸入品の役割を説明することができる。			
テキスト・教材 参考図書	貿易英語の実用文例、貿易実務検定英語分野過去問題、TOEICメガ模試								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	授業の進め方／出入国関連(用語)				今日の学んだ内容の復習 単語テスト勉強			
	2	英文レター(1)(海外取引先紹介)／出入国関連(手続き)				今日の学んだ内容の復習 単語テスト勉強			
	3	英文レター(2)(取引先の選定)／貿易書類(INVOICE)読み取り				今日の学んだ内容の復習 単語テスト勉強			
	4	英文レター(3)(商品売り込み)／貿易書類(INVOICE)作成				今日の学んだ内容の復習 単語テスト勉強			
	5	英文レター(4)(引き合い)／貿易用語(インコタームズ)				これまでに学んだ内容の復習			
	6	復習テスト / グループワーク				グループで輸入品購入のプランを立てておく			
	7	輸入品購入				購入した輸入品について調べておく			
	8	英文レター(5)オファー／グループワーク(輸入品研究)				輸入品についての発表の準備計画を立てる 今日学んだ内容の復習 / 単語テスト勉強			
	9	英文レター(6)カウンターオファー／貿易書類(船荷証券)				今日の学んだ内容の復習 単語テスト勉強			
	10	英文レター(7)貿易決済／貿易書類(統計番号)				今日の学んだ内容の復習 単語テスト勉強			
	11	英文レター(8)売契約送付状／統計番号問題				今日の学んだ内容の復習 単語テスト勉強			
	12	長文レター問題(社会メモ)				今日の学んだ内容の復習			
	13	長文レター問題(ビジネスレター)				これまでに学んだ内容の復習			
	14	復習テスト / グループワーク				発表の準備をしておく			
15	グループ発表(輸入品について)								
評価方法	(1)授業の中で復習テストを2回、(2)グループ発表を1回実施する。(3)定期試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	◎	○				50%		
	復習テスト	◎					30%		
	発表				◎		20%		
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。								